

保育北九州

令和7年5月1日
発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番
発行人 山 本 文 雄
編集人 西 敏 昭

2025 **218**



〈提供 戸畑支部〉

「草スキーきもちよかったー!!」

(5歳児の作品)

表紙	1
こども誰でも通園制度について	2～3
「仲間たち」	4～5
研修・一期一会	6
支部近況	7
雑感・編集後記	8

令和6年度 北九州市こども誰でも通園制度試行事業



こども誰でも通園制度は令和5年6月に「こども未来戦略方針」のなかで打ち出され、令和8年度の本格始動に向けて各地で試行事業の実施、体制作りが進められています。その中で、北九州市では令和6年7月より試行事業が始まりました。そこで今回はその概要と実施園にアンケートを行いまとめてみました。

概要

全てのこどもの育ちを応援し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で保護者の就労有無を問わず時間単位で利用できる新たな通園制度「こども誰でも通園制度」の試行事業を実施します。

〈利用対象となる児童〉

お子さまと保護者が北九州市に居住していること。(原則として、北九州市に住民票があること)

保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業所等に通っていないこと。

②認可外保育施設に通っている0歳6ヶ月から満3歳未満は対象ですが、企業主導型保育事業所に通っている0歳6ヶ月から満3歳未満児は対象外です。

〈お申込み・手続きについて〉

利用希望者は利用希望園に直接利用の申し込みを行います。

③お子様の住所、生年月日のわかる書類(保険証等)の写しなどを提出します。

〈利用可能時間〉

お子さま一人あたり月10時間を上限に利用可能です。

④当月内で10時間までの利用が可能となり、翌月への繰り越しはできません。

〈利用料〉

お子さま一人1時間あたり300円
(1)下記に該当する世帯には減免制度があります。

(ア)生活保護世帯 無料

(イ)住民税非課税世帯 1時間60円

(ウ)世帯の当該年度市町村民税所得割課税額合計が77,100円

以下の世帯 1時間90円

⑤給食やおやつを提供、園の催し等により、利用料以外にその他実費分の負担が発生する場合があります。

アンケート

今回、以下の内容で実施園にアンケートを取らせて頂きました。

Q1 受入可能年齢

Q2 年齢別登録者数

(令和7年1月31日時点)

Q3 実施日

Q4 実施時間

Q5 月平均利用者数・月平均利用時間

(令和6年8月～令和7年1月までの集計)

Q6 保育の様子(気を付けていること・工夫しているところ)

Q7 保護者の利用理由

【門司区】NINARUふじまつ保育園

Q1 0歳6ヶ月から満3歳未満

Q2 満0歳児：6名 満1歳児：6名

満2歳児：5名 満3歳児：0名

Q3 第1から第4木曜日

Q4 午前10時00分から午前12時00分

午後0時00分から午後3時00分

Q5 月平均13名 月平均38時間

Q6 初回の利用では、泣いてしまうこと

もありましたが、出来るだけ泣かずに楽しく過ごせるよう、玩具や絵本等、年齢や子どもの様子にあわせて、選ぶようにしています。月替わりの制作(簡単な動くおもちゃや季節の飾り)も楽しみの一つになっています。利用中の子どもの様子を伝えたり、保護者の育児相談にのることも大切な役割の一つだと考え、丁寧に応じるようにしています。

Q7 保護者のリフレッシュ・引越しの準備・買い物

※門司区では他幼稚園3園でも行っています。

【小倉北区】れんげ心の花保育園

Q1 1歳児から満3歳未満

Q2 満0歳児：0名 満1歳児：2名

満2歳児：0名 満3歳児：0名

Q3 火曜日のみ

Q4 午前9時00分から午前12時00分

Q5 月平均5名 月平均16時間

Q6 いつも同じ保育士が言葉掛けなどを工夫し、温かく関わるようにしている。

・好きな玩具を用意し、楽しく遊べるようにしている。

・給食は保護者に苦手な物や食事状況を聞いて、食べたい物を食べられるようにしている。

・朝は保護者から当日の体調や前回の様子などを聞き、帰りは遊びの様子や友だちとの関わりの様子を伝えるようにしている。

Q7 保護者の病院受診をするため

・子どもの人見知りや激しく、知らない人、子どもとは一言も話さないため、交流させたい。

※小倉北区では他幼稚園1園でも行っています。

【小倉南区】 認定こども園

あけぼの愛育保育園

Q1 0歳6ヶ月から満3歳未満
満0歳児…0名 満1歳児…15名
満2歳児…4名 満3歳児…1名

Q3 火曜日から金曜日

Q4 午前10時00分から午前12時00分
午後0時00分から午後4時00分

Q5 月平均9名 月平均56時間

Q6 初回利用時は子どもの負担軽減のため、短時間(食事なし)での利用をお願いしている。

・電話窓口での予約のため、予約一覧表を作成し、活用している。

・毎月の食事献立はメールで配信する。

・基本はこども誰でも通園制度の保育室で過ごす、在園児と同室で交流の経験を持つようにしている。

・その日の利用人数により職員の人数配置を配慮する。

Q7 同年齢や異年齢児との関わりを経験してほしい。

※小倉南区では他認定こども園幼稚園型の1園も行っています。

【若松区】 認定こども園

ひびきの保育園

Q1 満0歳6ヶ月から満3歳未満

Q2 満0歳児…0名 満1歳児…10名
満2歳児…5名 満3歳児…2名

Q3 月曜日から木曜日

Q4 午前10時00分から午前12時00分
午後1時30分から午後4時00分

Q5 月平均11名 月平均21時間

Q6 短時間の保育なので、ゆったりと過ごせるような遊びの環境を作っています。始めはずっと泣いている子も多く抱っこやおんぶで過ごしていますが、慣れてくると喜んで好きな玩具で遊びだし楽しそうに過ごしています。2時間でのお迎えになるので、子どもたちには、負担も少なく過ごせているように感じます。

希望者には、給食の提供も行っている、面接を丁寧に行い生活面や病気なども把握して、担当職員にも周知しています。

Q7 保育園や幼稚園に通う前に体験させたい、慣れてほしい。

・保護者のリフレッシュ
・親族以外の子どもや大人と触れ合い、遊んでほしい。

※若松区では他認定こども園幼稚園型2園も行っています。

【八幡東区】 認定こども園

リアンはなお保育園

Q1 1歳0ヶ月から満3歳未満

Q2 満0歳児…0名 満1歳児…5名
満2歳児…6名 満3歳児…0名

Q3 火曜日から金曜日
午前10時00分から午前12時00分
午後1時30分から午後4時00分

Q5 月平均14名 月平均19時間

Q6 慣れるまでは担当を決めて1対1で信頼関係を築き、慣れて来たら他の担任とも遊べるように人間関係を広げている。

・保護者に好きな遊びを尋ねて準備しておく。

・戸外遊びが好きな子どもは園庭の玩具で遊んだり、芝生を散歩したりしている。

・感染症が流行した時は電話連絡をしたり、利用日に伝達したりして予防に努めている。

Q7 迎え時に様子を伝え、保護者が安心して預けられるように関係性を深める。

・保護者のリフレッシュ
・家事
・通院
・入園前の慣らし保育

【八幡西区】 認定こども園 別所保育園

Q1 1歳0ヶ月から満3歳未満

Q2 満0歳児…0名 満1歳児…10名
満2歳児…2名 満3歳児…0名

Q3 火曜日から金曜日
午前10時00分から午前12時00分
午後1時30分から午後4時00分

Q4 月平均6名 月平均11時間

Q5 申請した保育室の他、同年齢の子ども同士に触れ合いや集団の中で社会性が育まれるよう在籍する子どもたちのクラスで過ごせるよう

にしている。

・送迎時には園での様子を伝え、子育ての悩みや不安な気持ちなどを聞き、気持ちの安定に繋がるよう保護者との会話を大切にしている。

・一時保育事業との兼ね合いを考慮しながらバランスよく受け入れを行っている。

Q7 保護者のリフレッシュ
・保護者の通院

【戸畑区】 認定こども園 ナオミ愛児園

Q1 0歳6ヶ月から

Q2 満0歳児…7名 満1歳児…8名
満2歳児…0名 満3歳児…0名

Q3 火曜日、木曜日、第3土曜日
午前9時00分から午前12時00分
午後2時30分から午後4時30分

Q4 月平均18名 月平均33時間

Q5 送迎時には特に母親とのコミュニケーションを心がけ、子どもの発達や性質をよく観察しながら、成長の喜びに共感している。子どもの経験を豊かにし、発達が促されるようにする。また、母親の頑張りを褒めながら、現在困っていることや不安に感じていることがあればそれを明確にし、解決に向けて支援し、子育てを楽しみを感じられるようにサポートしている。

Q7 保護者のリフレッシュ
・育児不安のため

「和太鼓も」は北九州市内の保育園に勤務する保育士で結成されたチームです。保育園や地域の記念行事、施設訪問などに活動の場を広げながら、和太鼓の響きを届けています。みんなで創作するというスタイルで今までたくさん曲を作ってきました。コンテストで東京に行ったりゲストとして「滋賀県びわ湖ホール」で演奏したりしたこともあります。

昨年は活動30周年を記念してウエルとばたの大ホールで発表会が行われました。今回は「和太鼓も」の創始者メンバーに和太鼓を始めたきっかけや仕事との両立、今後の展望などお伺いしました。



Q 活動を始めた時期とそのきっかけについて

1994年がスタートです。「祭衆」という和太鼓チームのコンサートに行つて心と体に響く太鼓の音に魅了され、叩いてみたくなりました。自分が叩いてみて楽しかったこの感動を保育所の子どもたちにも伝えたいと思ったことが結成のきっかけです。

職場の同僚や後輩たちを練習に誘つて和太鼓チームを発足しました。ももの花咲く頃だったので「もも」と名付けました。スタートのメンバーは10人、途中で結婚、出産、転居などあつて6人で活動していました。現在は新メンバーが加わつて11人です。

Q 練習はどこでされていますか？

太鼓は振動があり音も響くため練習場探しは大変でした。騒音にならないか、苦情にならないかといつも心配



していましたが、太鼓を通じて出会った方々に練習場や保管場所を提供していただいたりというところも助けていただけてきました。ご縁とご厚意に感謝して活動を続けています。今は防音設備の整ったウエルとばたの練習室やクレカ若松多目的ホールで快適な環境のもと定期的に練習に励んでいます。

Q 仕事との両立で工夫されていることはありますか？

練習は仕事を終えて集合できる時間(19時〜21時)としています。全員集まらない時もあるので、日祭日になつぷり時間を取つて練習をすることもあります。特に両立している感覚はありませんが、まずは仕事優先、可能であれば勤務時間の調整もしています。出演でお休みをいただく日もあるので職場の方々の理解と協力には感謝しています。

Q 保育園や幼稚園には年間どのくらい演奏していますか？また、子どもたちの反応はどうですか？

多い年で10か所、コロナ禍だったここ数年は5〜6か所くらいです。夏まつりや運動会に向けて太鼓に取り組みたい、又は子どもたちが太鼓を始める導入として依頼をされることもあり、指導を兼ねて演奏に何うことが多いです。

子どもたちは太鼓の音に集中し、からだ全体でリズムを受けて揺らしたり声を出したりして思い思いに楽しんでいます。私たちの振りやリズムを真似しながら目をキラキラさせて太鼓に引き込まれていく姿を見ることは演者としてたまらない瞬間です。この瞬間のために太鼓をたたいているのかもしれない。

Q 30周年発表会の取り組みでうれしかったことはありますか？

ウエルとばたの大ホールがいっぱいになりました。

発表会にあたり、一曲一曲を見直しながら納得するまで演目を作り上げました。業務多忙で出演を諦めかけていたメンバーもいましたが、温かい声援と周囲のサポートに後押しされて舞台では自然に笑顔になっており、「和太鼓もも」はやっぱり太鼓が好きなチームなんだなあと実感しました。観客と一体となれたこと、演奏に感動していただけのこと、「元気をもらった」「楽しかった」など感想をいただいたことで自分たちが楽しむだけでなく誰かのために役立っていると感じてうれしさと達成感が胸がいっぱいになりました。最高の発表会でした。



◎ 今後の展望について

新曲の創作・出演依頼に応じたメンバーの構成や練習に取り組んでいます。自分たちの演奏を皆さんに楽しんでもらい、共感しあえる太鼓をこれから披露していきたいです。

結成30年が経ち、保育所で「もも」の演奏を聴いた子どもが成長してメン



バーの一員として活動を始めており、チームの歴史を感じます。私たちの世代で「和太鼓もも」が終わらずに続いてくれたらと願っています。でも、たとえ名前が続かなくても子どもたちに和太鼓の楽しさを伝えられる人が育ってくれたらうれしいです。

コロナ禍が明け、保育園での演奏も増えてきました。子どもたちの前で演奏することが一番の喜びです。お声掛けがあれば勤務日や時間を調整しながらできる限りいろいろな場所で和太鼓の楽しさをお届けしていきたいです。

「和太鼓もも」さんありがとうございました。これまでの歴史や子どもたちのこと等お聞きして仕事をしながら自分自身の楽しみと同時に周囲の方々に感動を届けている皆さんの生き方そのものに魅力を感じました。なかなかできることではありません。これからのご活躍を祈っています。



寄 付

(一社) 北九州市保育所連盟
(公社) 北九州市私立保育連盟
北九州市保育士会

へご寄付

西光保育園 園長 西敏昭
様より保育事業発展のためご厚志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますとともに心から感謝申し上げます。

(一社) 北九州市保育所連盟
(公社) 北九州市私立保育連盟
北九州市保育士会

へご寄付

れんげ心の花保育園 園長 黒田 玲子様より秋の叙勲受章にあたりご厚志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますとともに心から感謝申し上げます。



研修・一期一会

保育所(園)職員総合研修大会に参加して

令和6年度「保育所(園)職員総合研修大会」は2月6日に福岡市で開催予定でしたが、大雪の影響の為、後日アーカイブ配信となりました。

増本律秀会長より「本研修を通じて、子どもたちの健やかな成長と子育て支援の一層の充実につながることを期待しています」との挨拶から始まりました。近年の保育を取り巻く環境は、園児が減ることによる定員割れや集団保育の困難さが顕在化し、保育所等の安定的な運営に多くの課題が生じていること、「こども誰でも通園制度」等、全ての子どもと子育て家庭を支援する役割が求められているなど報告がありました。

実践発表

「子育て支援・小学校や地域関係者との連携」食育を通じた交流活動」

社会福祉法人 希耀會

花乃路保育園

園長 永松貴美恵先生

これまで地域の方や高齢者の方には

子どもたちと過ごす時間が生きがいの声をいただいていたようですが、新型コロナウイルス感染症に翻弄される日々が続き、地域関係者との交流が変更や中止になっていたそうです。コロナ前に戻りつつある中で、保護者や地域の子育て家庭への声に耳を傾けると子育て中の食に関する悩みが多いことに気付き、手作りおやつや給食試食会を開催されたそうです。

感染症へのリスクを心配しながら試行錯誤され、子どもたちが楽しんで意欲的に食べるために地域の力を借りながら食に関する取り組みをされている行動力にとっても強い印象を受けました。

「保育の標準化」チーム保育 クラスのねらいを共有する大切さ」

社会福祉法人 寿光福祉会

南片江こども園

保育教諭 福森彩華先生

福森先生は2歳児を担任され、このテーマを選んだ理由として、日々目まぐるしく変化する子どもたちの姿や家庭環境、さらに保育の現場でもさまざまな変化が起こっており、その変化の中、毎月の保育に試行錯誤しながら向き合い、どのように皆で力を合わせて保育して

いくべきかを考えさせられる場面に直面したためだと仰っていました。

3ヶ月経過した頃、このクラスでは特に生活面での不安、困りごとが多いと分析でき、テーマ・ねらいを決めて話し合ったそうです。子どもたち一人一人に合わせた保育を行い、保育者間で共通認識をもち、共有していくことの大切さに改めて気付かされました。

「毎月の食事で心と身体が育つ 笑顔あふれる食育」

社会福祉法人 慈恵会

ほほえみこども園

主任保育教諭 本坊恵里香先生

ほほえみこども園では、「褒める保育」「自発的な子どもに育つ保育」「子どもの主体性が尊重される保育」を大切にされているそうです。毎日の食事では、子ども主体の食事の取り組みをされておられ、食事を口にする事で身体の成長にとっても大きな役割を与えることは当然のことですが、食べる時の雰囲気は何よりも重要であり、楽しい雰囲気の中で食べるにより美味しく食べられるということ。また苦手なものも頑張つて食べるようにこちらがすすめるばかりではなく、自ら意欲的に食べてみようと思える取り組みや関わりが大切なのだとお話ししてくださいました。

子どもの存在を認め、褒めることを

心がけながら子どもたちが食べることは楽しいと思える環境づくりに努めていきたいと思っています。

記念講演

「発達多様性の理解と尊重」

明星大学教育学部

教授 星山麻木先生

星山先生は色々な本を紹介してください、「ふつうって何？」というテーマにとっても考えさせられました。脳の発達機能は元々皆違います。その子どもたちに対して、どうしてこういうことをするのか全て理由があるため、この理由を理解し周りの子どもたちに伝えていくこと。コミュニケーションは一人一人違うということはお互いを尊重し合うことが大切だそうです。そのためにもまずは自分を理解すること、そして苦手なことは助け合うための合理的配慮が大切だということを知ることができました。子どもたちが困っている時にはいつでも相談していいんだよと安心感を与えられる保育士を目指していきたいと思っています。

今回の研修の学びを生かし、保育士として成長できるよう日々精進して参りたいと思います。このような機会をいただきましたありがとうございます。

光沢寺第二保育園 古川 美由紀

支部近況

門司支部篇

保育まつり

これまで門司区の保育まつりは、門司港レトロ中央広場や旧大連航路上屋などを会場に門司支部単独で行っていました。しかし今年は長いコロナ禍が明け、ようやく開催できることを考え、門司港の栄町銀天街で昔から行われている商店街の土曜夜市と協同して、令和6年7月27日(土)に開催しました。テーマは「地域と一緒に」とし、銀天街の方と共に



り多くの子育て家庭の参加を願い計画していききました。

栄町銀天街のアーケードは昭和32年に完成し、古き良き昭和の雰囲気が残る、どこか懐かしさを感じる商店街です。往時の面影を残した老舗店から新しいお店まで、個性的なお店が軒を連ねています。そのような商店街での初の試みとなった保育まつりでした。



「ヨーヨーすくい・輪投げ・ケンケンパー」、つくってあそぼうコーナーでは「うちわ・かえる・竹とんぼづく

り」、お話コーナーでは「絵本の読み聞かせやエプロンシアター」を行い、食育コーナーでは、給食やおやつなどのレシピと食育の写真の展示を行いました。その他としてフォトスポットや育児・健康相談の場所を設けました。夏の開催で暑

さはありましたが、レンタル冷風機の設置や店舗のご厚意により、涼める場所や休憩所など暑さ対策をし、子どもたちの熱気にも負けず楽しく活気ある保育まつりとなりました。お土産のうちわは、各コーナーでスタンプラリーをおこなって完成させ、保育まつり後に行われる「土曜夜市」にも利用できるようにしたこと、商店街の活性化にも繋がるものになりました。今後も地域の一員として、門司の文化を大切にしながら地域と共にこの地区を盛り上げていく門司支部でありたいと思います。

新年会

門司支部新年会が、令和7年1月10日(金)マリーゴールド門司港迎賓館で行われました。新年会には、(公社)北九州市私立保育連盟 山本博文会長、北九州市子ども家庭局 子ども家庭部 右田圭子部長、門司区役所 谷延正夫区長をはじめ、多くの来賓の皆様をお迎えすることが出来ました。

今回は食事を美味しく楽しむことに重きを置いて、なんとフルコース！



それがまたお洒落で美味しいものばかり。また、ピアニスト・バイオリニストによる生演奏もあって、夢見心地の時を過ごしました。演奏曲は、各園のリクエスト曲からクラシックや映画楽曲など、耳馴染みのある人気曲ばかりで、美味しい食事をさらに美味しく感じさせるトップピングとなっていました。

会の終盤には福引があり、全員にいきわたる景品が用意され、新年から幸せを感じる時間となりました。



マリーゴールド門司港迎賓館



「みんなでおべんとうたべたよ」

(5歳児の作品)

雑感 大好きな街

最初にイギリスに興味を持ったのは、小学生の時に読んだ児童書「メリーポピンズ」全集でした。描写される街や公園・お茶の時間に、憧れを持って想像を膨らませながら読んでいました。中学生になると、同級生がアイドルやニューミュージックのアーティストに夢中になる中、イギリスの音楽を聴くようになり、ファッション・文化・文学とさらに興味の対象が広がってきました。

ロンドンを初めて訪れたのは、二十二歳の時でした。英語が得意でもなくお金もない中、十八時間かけて行ったロンドンに一ヶ月滞在したのは、怖いもの知らずの若さと「行ってみない」願望のなせる業だったと思います。

その時は、ひたすらロンドンの街や公園を歩き、美術館や博物館を訪れ、ミュージカルを観たりライブに行ったりと、イギリスの文化に触れて、さらに私のイギリス愛は深まりました。「ピーターパン」や「不思議の国のアリス」「ハリーポッター」等のファンタジーの世界、教科書で見た絵画の数々、ウエストエンドで開演されるミュージカルや舞台、耳に残る名曲の数々。伝統を重んじながらも、新しいものを柔軟に受け入れていく島国に、どこか自分の国との共通点を感じるような気がします。

二十代で何度か訪れたイギリスですが、三十代・四十代は仕事と子育て・介護や看護で海外旅行どころではありませんでした。五十代になり、子どもたちから手が離れ少し気持ちに余裕ができると、私の中でまた「イギリスに行きたい」願望が湧いてきて、旅を再開するようになりしました。二十代の時と旅の形は変わり、娘と一緒に訪れるようになりましたが、街並みの近代化はあるものの、全く変わらない場所も多く、その時々旅の思い出に浸ることができました。

保育所での日々の仕事は、子どもの成長を見守り、同僚と喜び合えるやりがいのある仕事ですが、時に業務が過多で精神的に疲れることもあります。そんな自分にとって、大好きな街を訪ねてリフレッシュするところが、気持ちの切り替えになっているのだと思います。

何歳になっても好きなものを観て、好きな音楽を聴き、ファンタジーの世界に浸り、好きな場所を訪ねる。「人生の最後まで悔いなく過ごす」ことを目標に、仕事と「大好きなこと」のバランスを取りながら、今後も日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

あおぞら保育所 所長 池内文恵

編集後記 — 原点 —

日本の詩人、書家である相田みつをの言葉に「迷ったときには原点に立ち返ってみることだ 原点とは自分の本心だ 自分の本心に聞いてみるんだよ」と

シンプルでありながら心に深く響く言葉である。

日々の忙しさに追われる毎日の中で、今この瞬間を大切に生きる事の重要性を教えてくれている気がします。

平易な詩を独特な書体で書いた作品で知られ書の詩人、いのちの詩人とも、皆さんもどこかで一度は目にしているのでは、代表作にはにんげんだもの・おかげさんと

原点は禅を学び書の修行を積む中で挫折を繰り返し、乗り越えてつくりあげられた独特の書体と詩で平易な言葉が作品で多くの人々に感動と勇気を与えてくれた書家である。

こども基本法案には次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわた

る人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することかでき、こどもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることが出来る社会の実現を目指してと推進する目的で述べられています。

保育の原点は未来を担う子どもたちの発達を援助する大切な分野であり、保育にとって一番大切なのは子どもの心や行動を理解し、専門的な知識とともに経験を活かす事。

時代と共に保育を取り巻く環境が変化し進む中、保育の仕組みに対して保育に携わるすべての人達が心をついて「視点はいつもこどもたち」に向けてのさらなる質の向上を図る事を目的として。

あなたがそこにただいだけで、その場の空気が明るくなる。

あなたがそこにただいだけで、みんなの心がやすらぐ。

そんなあなたに私もなりたい

相田みつを

「保育北九州」編集委員長 西 敏昭